

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

(単位:人)

指 標	R6	R5	R4	増減理由等
研修室	1,543	1,302	1,269	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことで利用 者が増加。
試写室	921	705	640	
交流ホール	3,160	2,966	2,294	
談話コーナー	659	150	129	
合 計	6,283	5,123	4,332	
コ メ ン ト	様々な企画が利用者の増加につながっている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R6	R5	R4	支 出	R6	R5	R4
指定管理料	27,335	26,391	26,391	人件費	24,513	23,603	23,548
受取利息収入	4	0	0	備品・消耗品費	431	430	99
				水道光熱費	1,063	1,064	1,511
				研修研究費	181	160	133
				修繕費	24	0	50
				保険料	10	10	10
				その他	883	891	1,040
合 計(①)	27,339	26,391	26,391	合 計(②)	27,105	26,158	26,391
収支差額(①-②)	234	233	0				
コ メ ン ト							

3 管理運営状況

事 項	実 施 内 容
維持 管理 業務	清 掃 日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗浄塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに、①建物・備品等、②消防設備、 ③電気設備、④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警 備 3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修 繕 備品・設備点検を随時実施
	備品等管理 備品台帳に基づく点検(年1回) 管理台帳整備
	安全対策 ・センター利用者に対する賠償責任保険の加入 ・安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練 ・避難訓練、消火訓練は消費生活センターが実施(11/26)
	そ の 他 こまめな消灯・節電・節水等の実施
企 画 運 営 業 務	サービス提供 体制整備 ①みやざき聴障センターだよりの発行 ②センターHPに研修会等の案内を随時掲載 ③満足度調査を2回実施(R6.12.1～R7.1.31、R7.2.22～3.25)
	イベント等 ソフト面充実 5/19映画「終わりになき聲」上映(県立看護大)、7/21手話サマーフェスティバル(宮崎公立大)、9/23手話言語 の国際デーライトアップ(高千穂町、延岡市、都農町、西都市、宮崎市)、12/28餅つき大会、映画「沈黙の50 年」上映、2/15長い恵方巻き作り、3/20デフカフェ(宮崎公立大)
	施設設備等 ハード面充実 特に無し
	そ の 他 難聴者との手話学習交流会(月/1～2回)、県立高校生活支援員会議(宮崎工業高校、宮崎西高校、妻高 校、都城西高校)、映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会10/20宮崎市、11/24延岡市
管理運営体制 特に無し	
コ メ ン ト	基本協定書の内容に基づき、適切な管理が図られている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	令和6利用者満足度アンケート(R6.12.1～R7.1.31 150名)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
県北で、ろう者と手話で自由に話せる交流会等を企画してほしい。	貴重な意見として、今後検討していきたい。
各病院に手話通訳者、要約筆記のチラシを置き、利用者の拡大や理 解を広げてはどうか。	貴重な意見として、今後検討していきたい。

5 総合評価

評価コメント	基本協定書に沿って適正な業務が行われている。
今後の課題と対応	手話通訳者、要約筆記者とも宮崎市近郊在住者が多い。また、企画行事、イベントも宮崎市中心となるため、 ろう者にとって地域格差が生じている現状がある。そのような中、聴覚障害者センターでは、全市町村を回 り、行政、ろう者への聞き取りを行うなど、地道な取組を続けており、センターとしての使命を果たそうとしてい ることがうかがえる。